

ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

1. 焼山こぼと幼稚園

認定こども園 焼山こぼと

2. 環境構成と活動内容



乳児から幼児のクラスまで、外遊びを毎日行っています。雨上がりに大きな水たまりができるように、園庭にくぼみを準備。雨がふってできた巨大な水たまりがとても魅力的で、水たまりに入って思う存分あそんでいました。また、工事現場でもらった大きな塩ビ管の中に砂をいれて巨大な型抜きにしていました。

裏山の川の部分にも、雨上がりは水がたまるので、たまった水で水遊び。冷たい山水に触って、大喜びです。



子どもたちが触れることができる場所に、ひまわり・千日紅などの花を植えました。日に日に大きくなっていくひまわりをみて、子どもたちも大喜びでした。

園庭に咲く花をみて、子どもたちも触れて楽しむ・見て楽しむ・摘んで楽しむなど楽しみ方が様々でした。現在は、お茶室の花入れに入れることができるように“和”の花を育て中。様々な草花に触れることができる環境を整えていきます。



本園と少し離れている分園では、地域の方の家で春に田起しを手伝った。おじいちゃんにトラクターに乗せてもらって、ご満悦の様子。水が入った泥だらけの田んぼで泥んこ遊び、虫見つけも楽しみました。

秋には芋掘りの体験もさせてもらいました。おまけで柿も頂きました。地域の方とのふれあいを楽しむことができました。



園の畑でとれたスイカを給食で提供。普段は家で食べない子も友達が食べる姿をみて、「食べてみたい」と食べていました。



園の畑では、サツマイモを植えて、秋には焼き芋をしました。自分たちが収穫したものを友達と一緒に食べることで「おいしいね」という喜びを共有できました。また、実際に火をたくことで、「煙がくさい」「熱い」など今では見ることが少なく“たき火”について感想を言ったり、先生にいろいろ話してくれました



冬に雪がふりました。デッキやプールにうっすらと積もった雪を集めて雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、満喫しました。素手で雪を触ったあとに、“冷たい”とかじかむ手を、先生が準備した湯沸かし器でわかしたお湯につけると、いつも以上に熱く感じてビックリしていました。

自然体験活動の実施にあたって

今年度一番強く感じたことは、花を植えて、子どもたちとの会話が増えたことです。花を見て楽しんでくれたらいいなと思っていましたが、子どもたちは見るだけではなくて、匂いを嗅いだり、「何の花?」「とってもいいの?」など花のことを知ろうとしたり、枯れて行く花。枯れずにドライフラワーになっていくものなど、五感すべてをつかって感じていることを知ることができました。来年度はさらにパワーアップさせていきたいと思います。